令和６年度　南信州広域連合自立支援協議会くらし部会（医ケア・重心・身体チーム）活動報告

１　令和６年度の活動目標

当事者、家族が地域で安心して暮らせるよう地域や個々が抱える課題について、チーム内で抽出された内容に取り組んでいく。また、地域資源の発掘、情報交換の場としチーム支援を目指し関係機関、他部会との連携を図るとともに医療機関との連携を進める場とする。

２　部会の開催日程及び取組内容

年６回　概ね奇数月の水曜日　午前10時00分から午前11時30分

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催月日 | 参加者 | 内容等 |
| 第１回５月15日（水） | 34名 | 令和５年度活動報告及び令和６年度活動計画について、飯田養護学校及び花田養護学校の紹介と近年の動向について |
| 第２回７月17日（水） | 36名 | 医療的ケア児等の事例紹介（２事例）相談支援専門員よりサービス等利用計画を提示し意見交換 |
| 第３回８月21日（水） | 30名 | 地域の動向や事業所について情報交換会（グループワーク）多職種で構成されたグループで交流・情報交換 |
| 第４回９月18日（水） | 34名 | 災害時個別支援計画について阿智村役場の取り組み・医療的ケア児者への取り組み |
| 第５回10月16日（水） | 32名 | 看護師研修「在宅生活に役立つ福祉用具について」場所：（株）サンアイ福祉事業部２階会議室 |
| 第６回２月19日（水） | 23名 | 令和６年度まとめと令和７年度の活動検討 |

３　活動成果

・毎回、様々なテーマ、形態で開催され勉強になる。

　・養護学校の紹介は知らないことが多く勉強になった。

　・ケース紹介は他施設の様子がわかり、医ケア児者や家族の支援について知ることができた。

また、医ケア児等の受け入れ先の少なさを知ることができ支援の困難さなど地域の課題を知ることができた。

・情報交換会のグループワークでは圏域内の動向や今後の支援について参考になることが多々あり充実していた。多職種の方から話が聞けた。なかでも訪問看護の方が在宅でどう支えているかの話しが聞けて良かった。悩みをリアルに聞けた。

・災害時個別支援計画への市町村の取り組みや医ケア児の避難訓練の実際の様子について共有でき今後の課題についても知ることができた。

　・看護師研修では、福祉用具について学び実際に体験ができて良かった。

・本年度より配置された医ケア児等コーディネーターの取り組み状況等について随時情報提供があり良かった。今後も医療型短期入所の利用状況など定期的に報告いただく必要性を感じた。

　・開催毎にテーマが決まっており興味を持って参加することができた。

　・圏域内の事業所や関係機関と情報共有が図れるので有意義な定例会だと感じている。

・自立支援協議会へ課題提起はない

４　次年度に向けて検討すべき課題等

・この地域で生まれ、成長に合わせた支援を受け地域で暮らす。そんなライフステージに添った関係機関の関りや役割りについての情報共有が求められている。

・引き続き、医療的ケア児等コーディネーターの取り組みについてもチーム内で情報共有し圏域内の状況について確認していきたい。

・医療的ケア児者、重症心身障害児者が家族含め、地域で暮らす中で楽しみが持てる。方法等について多職種でのグループワーク等含め情報交換の場としたい。

・災害時の対応についての関心も高く、各市町村の取り組みについて、今年度も情報共有していく。

　・看護師研修の継続。

　・他部会主催の研修会参加。